

64 高齢者の病態と作業療法との組合せで適切なのはどれか。

1. 難聴———かん高い声で話しかける。
2. 白内障———陽の当たる明るい場所は避ける。
3. うつ症状———激励する様に話しかける。
4. 骨粗鬆症———腰痛時は体幹前屈位を勧める。
5. 記銘力低下———課題を早めに変更する。

65 高齢者施設で集団訓練に参加できる疾患はどれか。

1. 疥癬
2. 感染性胃腸炎
3. 口唇ヘルペス
4. インフルエンザ
5. 流行性角結膜炎

66 家族や友人を亡くしたことを嘆き悲しみ、その後回復していく過程はどれか。

1. トラウマ
2. 哭の仕事
3. 対象喪失
4. パリアティブケア
5. スピリチュアルペイン

67 改訂日本版デンバー式発達スクリーニング検査(DDST)による「親指と人さし指の指さきでつまむ」ことが可能となるのは生後何か月ころか。

1. 7.0か月
2. 8.5か月
3. 9.5か月
4. 10.5か月
5. 11.0か月

68 小児における疾患と作業療法との組合せで誤っているのはどれか。

1. 自閉症——トランポリン
2. Down 症——リズムダンス
3. 若年性関節リウマチ——刺繡
4. 注意欠陥多動性障害(ADHD)——ブランコ
5. Duchenne 型筋ジストロフィー——パソコンゲーム

69 Duchenne 型筋ジストロフィーのステージ 6 (厚生省筋萎縮症研究班の機能障害度分類による)で、座位の作業活動で適切なのはどれか。

1. 椅子座位で風船バレー
2. 足で板を抑えて鋸引き
3. ろくろを使った陶芸の深皿作り
4. 机上に置いた鍵盤ハーモニカの吹奏
5. 机上で木槌を用いた革細工スタンピング

70 座位保持装置で正しい組合せはどれか。

1. モールド型——パッドなどで調節する身体支持
2. 平板形状型——平坦な構造を持つテーブル
3. シート張り調節型——たわみ調節式のレッグサポート
4. ティルト機構——一定角度を保持して傾く身体支持
5. フレックス構造——2つに屈曲する背もたれ

71 上肢装具の部品が保持する肢位で正しいのはどれか。

1. Cバー——示指 MP 関節伸展位
2. 対立バー——母指 MP 関節屈曲位
3. 手掌バー——母指内転
4. 虫様筋バー——環・小指 MP 関節屈曲位
5. アウトリガー——母指・小指対立位

72 腰髄損傷者(第1腰髄節まで機能残存)の車椅子適合で正しい組合せはどれか。2つ選べ。

1. 車軸の位置——肩関節を通る床面への垂線上
2. 座面の幅——骨盤の横幅 + 10 cm
3. 背もたれの高さ——腋窩の高さ - 10 cm
4. サイド(スカート)ガードの高さ——腸骨稜の高さ - 2 cm
5. フットサポート(足台)の高さ——床面から 2 cm

73 革細工について正しいのはどれか。

1. 切り口がほつれにくい。
2. 古いほど細工がしやすい。
3. 一度形を作ると修正できない。
4. 水に濡らすと染料が染み込みやすい。
5. スタンピングにはスーベルカッターを使う。

74 手指のピンチ力強化に適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 木工の鋸引き
2. 篠細工の編み込み
3. 革細工のレーシング
4. 陶芸の粘土手びねり
5. モザイクのタイル貼り

75 高齢者の住宅改造で設置する手すりについて正しいのはどれか。

1. 直径は 50~55 mm とする。
2. 壁面から中心までは 100 mm とする。
3. 石膏ボードの壁は直接取り付けやすい。
4. 階段では両端を延長して水平部分を作る。
5. 廊下では床から 600 mm の高さに取り付ける。

76 理学療法士及び作業療法士法で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 作業療法士免許は内閣総理大臣から交付される。
2. 作業療法の目的は基本的動作能力の維持である。
3. 作業療法士でなくなった後においても守秘義務がある。
4. 作業療法士は日本作業療法士協会の名簿に登録される。
5. 作業療法の対象は身体又は精神に障害のある者である。

77 正しい組合せはどれか。2つ選べ。

1. BPRS——陰性症状尺度
2. GATB——精神作業検査
3. WAIS——知能検査
4. POMS——気分尺度
5. LASMI——性格検査

78 集団作業療法で適切なのはどれか。

1. 集団分類の一つに準閉鎖集団がある。
2. 急性期から開始する。
3. 集団の凝集性を目的とする。
4. 週に1回実施することが標準である。
5. 集団への参加率で効果を見る。

79 認知症高齢者に用いる作業活動で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 工程の多い作業
2. 3時間程度の作業
3. 繰り返しのある作業
4. 道具の種類が多い作業
5. 過去になじみのある作業

80 認知症高齢者の作業療法で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 複数の課題を提供する。
2. 絵や文字を併用し説明する。
3. 作業療法士が交代で指導する。
4. できない作業を中心に練習する。
5. 小集団で参加メンバーを固定する。

81 アルコール依存症で正しいのはどれか。

1. 身体依存はない。
2. 慢性硬膜下血腫を生じやすい。
3. 離脱症状は断酒後3時間で生じる。
4. Korsakoff症候群では遠隔記憶が障害される。
5. 夫婦がアルコール依存になることを共依存と呼ぶ。

82 薬物依存について正しいのはどれか。

1. 大麻には耐性がある。
2. コカインには耐性はない。
3. シンナーには身体依存がある。
4. モルヒネには身体依存はない。
5. 耐性によって薬物の使用量が減少する。

83 統合失調症の作業場面での特徴はどれか。

1. 同じ間違いが少ない。
2. 作業能力の変動が少ない。
3. 援助によって達成量が増える。
4. 同時並行の作業が得意である。
5. 全体を見て判断することができる。

84 統合失調症回復期前期の作業療法で優先して考慮するのはどれか。

1. 社会性
2. 疲労度
3. 就労準備性
4. 対人依存性
5. 作品の完成度

85 統合失調症回復期後期の作業療法の目的で適切なのはどれか。

1. 対人関係技能の習得
2. 生活リズムの形成
3. 身辺処理の達成
4. 心身機能の回復
5. 楽しむ体験

86 気分障害(うつ状態)の患者の作業療法中にみられないのはどれか。

1. 疲れやすい。
2. 頑張り過ぎる。
3. 失敗にこだわる。
4. 興味が移りやすい。
5. 意思決定が苦手である。

87 うつ状態と躁状態とに共通する特徴はどれか。

1. 意欲減退
2. 集中困難
3. 過大評価
4. 易疲労性
5. 觀念奔逸

88 うつ病の身体症状でないのはどれか。

1. 頭 痛
2. 下 痢
3. 肩こり
4. けいれん
5. 食欲不振

89 うつ病初期の作業療法で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 病前からなじんだ活動を用いる。
2. 十分な休息がとれた後に開始する。
3. 集団を利用して他者との交流を促す。
4. 疲労度を確認しながら活動時間を決める。
5. 復職を目指して病前の仕事と同じ作業を行う。

90 社会不安障害にみられる症状はどれか。

1. 発 汗
2. 昏 迷
3. 支離滅裂
4. 反復行為
5. 慢性の空虚感

91 身体表現性障害の患者に対する作業療法で適切なのはどれか。

1. 現実検討能力を高める。
2. 不安な気持ちを解釈する。
3. 集団作業療法を基本とする。
4. 対人関係能力の向上を図る。
5. 感情表現を促す活動を提供する。

92 神経性無食欲症の患者に対する作業療法で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. ボディイメージのゆがみを扱う。
2. 身体運動を通して発散を促す。
3. 対人交流を楽しめるよう促す。
4. 食事についての話題を促す。
5. 体重の自己チェックを促す。

93 境界型人格障害患者の作業療法場面でみられるのはどれか。

1. 作業への一貫した取り組み
2. 難易度の低い作品を要求
3. 治療者への依存
4. 集団への適応
5. 失敗時の洞察

94 精神遅滞を合併しないのはどれか。

1. 核黄疸
2. Down 症
3. フェニルケトン尿症
4. Marfan(マルファン)症候群
5. Klinefelter(クラインフェルター)症候群

95 精神遅滞について正しいのはどれか。

1. 有病率は男性が高い。
2. IQ は生活年齢で表す。
3. 発症は 20 歳未満である。
4. 原因で多いのは感染症である。
5. 軽度精神遅滞は IQ が 80~90 である。

96 幼児期の広汎性発達障害の作業療法の目的で適切でないのはどれか。

1. 社会性の発達
2. 運動協応の向上
3. 自己調節機能の向上
4. 基本的生活習慣の確立
5. コミュニケーション能力の向上

97 Asperger 症候群の特徴はどれか。

1. 他人と楽しみを共有できない。
2. 何事にも興味を示さない。
3. 知的発達の遅れを伴う。
4. 特定の文字が読めない。
5. 同じ動作を繰り返す。

98 てんかん患者が作業療法中に突然口をもぐもぐさせ、舌なめずりをはじめた。声かけしても返答がなかった。

この発作はどれか。

1. ミオクロニ一発作
2. 複雑部分発作
3. 単純部分発作
4. 欠神発作
5. 間代発作

99 てんかん患者に対する作業療法実施時の発作予防の留意点はどれか。

1. 固執性
2. 集中度
3. 疲労度
4. 協調性
5. 参加度

100 障害者自立支援法で誤っているのはどれか。

1. 障害者施策で三障害を一元化した。
2. 利用者本位のサービス体系に再編した。
3. 就労支援を抜本的に強化した。
4. 支給決定のために障害程度区分を導入した。
5. サービス利用時の利用者負担をなくした。